



広報

ごじょうめ

特集号



長寿 100歳

シミおばあさん、いつまでも元気で

加賀谷町長から寿状と祝い金が手渡されました。

(自宅にて)

多年にわたり社会の進展に寄与された高齢者を敬愛し、そのご長寿をお祝いするため、昭和五十三年に制定した寿条例に基づく、満百歳第一号が誕生されましたことは、町にとっても大変喜ばしいことであり、町民等しくこの長寿にあやかり、健やかであることを願い、町広報「ごじょうめ」の特集号を発行した次第であります。

本町では、今年中に寿条例に該当する九十歳以上の誕生日を迎える方は、男性五名、女性二十九名、合わせて三十四名で、その数は年々増え、誠におめでたい限りであります。伊藤様に続く第二、第三の百歳が誕生されることを期待しているところです。

伊藤シミ様には、今後も健康にくれぐれもご注意され、長生きされることをお祈り申しあげ、お祝いのことばといたします。

満百歳おめでとうございます。
町一番の長寿者、伊藤シミ様に心からお祝いを申しあげます。明治、大正、昭和にわたり、お元気で長寿を保たれておりますことは、ご当人の日常における健康管理はもとより、ご家族をはじめ、周囲のやさしい心づかいと暖かい励ましによるものと、心から敬意を表したいと思います。

五城目町長 加賀谷 力 司

お祝いのことば

昭和63年
(1988年)

4月22日

発行／五城目町
編集／文書広報課
☎ 0188(52)2100代
印刷／湖東印刷所
☎ 0188(52)2430

あさん 誕生日あめでとう



町長や家族らと記念撮影をするシミさん

四月十六日、富津内落合の伊藤シミさん（明治二十一年生まれ）が、満百歳の誕生日を迎えた。町寿条例（五十三年制定）によつて寿状と長寿祝金（百万円）が贈られました。

当日前十一時から自宅で始める長寿祝金贈呈式および祝賀会には、親族や関係者約三十名が出席。加賀谷町長から寿状と祝金が手渡されると、幾分緊張した面もちながらも、笑顔で「どうもありがとうございます」とお礼の言葉を述べています。続いて、やしや孫の名越優ちゃん（四歳）からの花束の贈呈、富津内小学校の皆さんから、作文や千羽鶴などがプレゼントされました。

この後行われた祝賀会では加賀谷町長が「町民の師表としてもつと生きしてください」と激励。また長寿を祝う謡なども披露され、シミさんの百歳の誕生日を祝いました。

五城目町老人クラブ連合会長
中 村 清次郎

このたび、富津内落合の伊藤シミさんが、めでたく百歳を迎えたことは、伊藤さん一族のお喜びはもとより、地域、五城目町、更には長寿社会にとつてこの上ない喜びであります。

今日、高齢化が進み、『人生五十年』から八十年へと喜ばしい時代になりましたが、百歳の齢を重ねることはまれなことで、私達老人クラブ会員も心からお祝い申し上げます。このめでたい齢を迎えるまでの喜びやご苦労の積み重ねは、これから長寿を迎える若者たちにとつて貴重なご体験であります。今後、更に健康で、若い人達に長寿のご体験をお示しくださることをお願いし、お祝い申します。

落合の伊藤シミさんに 祝金百万円を贈呈

五城目町寿条例満百歳第一号

五城目町議会議長 小玉哲郎

伊藤シミおばあさん、満百歳のお誕生日おめでとうございます。私たちの町で百歳のお祝いをするのは初めてであり、町民こそつて喜んでおります。

明治二十一年と言えば、まだ五十目村や中津又村と言つた頃の事ですが、それから百年、生活様式も物の価値觀さえもすっかり變ったと思ひでしよう。機械らしいものは何もなく、すべて人力だけの農作業で、ゴム靴などあろうはずもなく、着る物も自分で織つたものだと聞いております。

こうしたご経験を持つ方々も少なくなつた今、あなたは私たちの町の誇りであり、そして町の博物館です。

これからも昔の事を語りながら、もっともつと長生きしてくださるよう心からお祈りして、お祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉集

おばあば 100歳のおばあ

ご家族からひとこと

孫・重孝さん（56歳）

このたび、祖母が満百歳の誕生日を迎えました。一世紀にわたる長い人生を生き抜き、長寿の喜びの日を迎えることができましたのも、健康について本人はもちろん、家族の者も当然の務めとして留意していましたが、ひとえに町長さん始め、町の関係者の方々、地域の皆様方の常日頃の暖かい励ましといたわりの言葉の賜と感謝しております。

祖母は、亡き祖父と二人で農業のかたわら、炭焼きや馬の飼育に励みました。七十七歳の時に胆石の手術をし、老衰と血液不足により命が危ふまれましたが、役場と農協の職員の方々の暖かい献血によつて一命を取り留めることができました。

この度、町より寿状と長寿

祝金をいただき、当主として身に余る光栄と感謝の念で一杯です。

娘・トクエさん（75歳）

母は朝七時起き、自分で身の回りのことをちゃんとやります。食事はごはん一膳とみそ汁とひたし、特に納豆が好きです。また、若い頃からタバコが好きで今でも吸っています。七十歳ぐらいまでオハグロを付けていましたが、その後やめてから歯が抜け出

おばあさんは、毎朝決った時間に起きて朝ごはんを食べます。時どき私が変った珍しい料理などを作ると「うめえなあ。これはうめえもんだ」と喜んで食べててくれます。何よりも感心するのは、話事がしっかりといるし、人の話も良くわかり物忘れしないことです。私達が家へ帰ると、今日一日あつた事などを忘れないで話してくれます。また、私たちが田畠に出て遅くなつた時など家へ入るまで

五城目町第一号長寿者、百歳の誕生日おめでとうございます。

「百歳」と一口に言いますが、私達には、百年生きたと考えただけで、気が遠くなるような長い長い年月です。

振り返ってみれば、どなたの人生にも、色々山あり谷ありで、なだらかな日ばかりではありません。若くして娘は逝き、自分でも病にとりつかれ、死をさまよつた事もありましたが、今日百歳を迎えたのも家族の介抱と寿命の果報ともいえるでしょう。また、ひ孫を突然の事故で亡くされ、大きなショックもありました。

私事ですが、娘達が幼ない時に色々とめんどうみてもらい、時々、昔話に花を咲かせ、大笑いする時もあります。

シミさんは、糸つむぎの時代から機械の時代まで生きのびたけれど、いまだ近所迷惑もなく、家族にもあまり手かずをかけない生活ぶりをみては、私達も年輪を増すごとに命の大しさを感じながら、長く生きたいものだなと励まされているこの頃です。



昭和31年11月1日撮影



海軍士官の息子・民之助さんとの面会 一前右端一
(昭和17年8月21日 千葉県館山にて)

友人
伊藤サト(落合)
友人
伊藤ミチエ(落合)

トナのおばあさん、百までマメでえがつたな。ほんとうにおめでたいごどだな。耳、目、手足、どごふとちわりどこにや。自分の事、何でも一人でやるし、やつぱり昔からナメタラの湯っこもきいだな。えのものだも、めんどう見えてがにだな。
考えでみれば、おばあさんぐりや、この町のごど覚えてる人だば、他にいりや。この村で生まれでがら、今まで百年だがら、いちばんエリヤふとだ。
これからもじつとマメで、長生きして、ええ友達っこでいいでけれなあ。



富津内小学校の皆さん
お祝いに訪れました

がんばれ おばあちゃん

富津内小学校 五年 小玉万由子

「十六日に富津内の落合で百歳になるおばあちゃんがいます。」先生が言いました。わたしはびっくりしました。百ぼんのろうそくを消すおばあちゃんかあ。わたしは、うらやましくなりました。わたしが今まで消した数は、おばあちゃんの十分の一の十本です。

「消してみたいなあ。」

百年間いろいろなことをけいけんしてきたんですね。その一つ一つを聞いてみたいなあ。

今までどんなことに気をつけてきたのですか。わたしもおばあちゃんのよう

百歳まで生きたいと思ひます。

百歳のおばあちゃん、これからもずっと健康に気をつけて、百歳よりもっと生きして下さい。

いつまでも、みんなといっしょに、長生きして下さい。

おめでとう、おばあちゃん。

がんばれ、おばあちゃん。

時代を迎えて、長寿社会に対する施設の必要性を痛感したところ、昭和六十一年八月に町の各層の代表からなる「長寿社会構築対策懇談会」に意見を求め、基本的な方針としての道しるべをご提言いたしました。これをもとに、同年十一月に「五城目町長寿社会構築大綱」を策定しました。今後は、この大綱に沿った施策に努めて参ります。

町では、人生八十年の長寿時代を迎え、長寿社会に対する施設の必要性を痛感したところ、昭和六十一年八月に町の各層の代表からなる「長寿社会構築対策懇談会」に意見を求め、基本的な方針としての道しるべをご提言いたしました。これをもとに、同年十一月に「五城目町長寿社会構築大綱」を策定しました。今後は、この大綱に沿った施策に努めて参ります。

○六十三年度

高齢者対策の主な内容

▽痴呆性老人モデル保健調査事業について

痴呆性老人をかかる家庭における介護人の軽減とデイケア施策等、総合的な対策を検討するため、六十二年八月に国のモデル指定を受け（全国で十カ所）、今後の保健事業としての対応策について調査検討しています。

なお、このため町で委嘱した調査員が皆さんのお宅へお伺いした際には、ご協力ください。

▽長寿祝金の支給について

永年にわたり本町の進展に寄与された高齢者を敬愛し、毎年誕生日には寿状と長寿祝金を持って町長がお祝いに訪

本町の高齢者 福祉対策

福社対策

れています。

▽祝金の支給額

満九十歳から満九十四歳 年二万円

満九十五歳から満九十九歳 年五万円

満百歳 年百万円

満百一歳以上 年十万円

を贈りお祝いします。

▽高齢者住宅整備資金貸付け

高齢者が地域の一員として末長く健やかな生活を送れるよう、高齢者のために居室を増築、または改築する場合貸付けをします。貸付限度額は八十万円です。

▽敬老式の開催について

七十七歳以上の方々全員を対象として開催し、八十歳以上の方々には敬老祝金を、七十七歳など祝年を迎える方々には、それぞれ寿状と記念品を贈ります。また長年にわたり寝たきり老人を介護され、よくその面倒をみている介護人の方も表彰します。

▽金婚式の開催について

結婚五十年をお祝いするもので、今年その対象となる方は四十一組で、記念品出張、看護、学校、その他

▽その他

○老人クラブ活動費の補助 ○福祉電話の設置 など

おばあさん、百回目の誕生日おめでとうございます。



家庭奉仕員が寝たきり老人の介護にあたっています

実伊藤礼蔵（落合）

百歳の誕生日おめでとうございます。五城目町の第一号百歳の誕生ですので、本当にめでたいことです。私の家系は、比較的長命の方です。父や兄弟で、八十四、五歳まで生きた人は三人もおりますが、九十歳の坂を越した人は、シミが一人のようです。

百年という長い年月は、いろいろの積み重ねでしたでしょう。日清、日露、第二次世界大戦、また、日一日と進む文化の発展など。家庭内では、結婚、子どもの誕生などいろいろの喜び。また、子ども、孫、夫の死別などの悲しいでき事を乗り越えて来たのです。すばらしい人生の経験を積まれたのも、長生きのたまものと思います。これからも体に気をつけて、一年でも二年でも長生きをして、五城目町に残るよう頑張ってください。